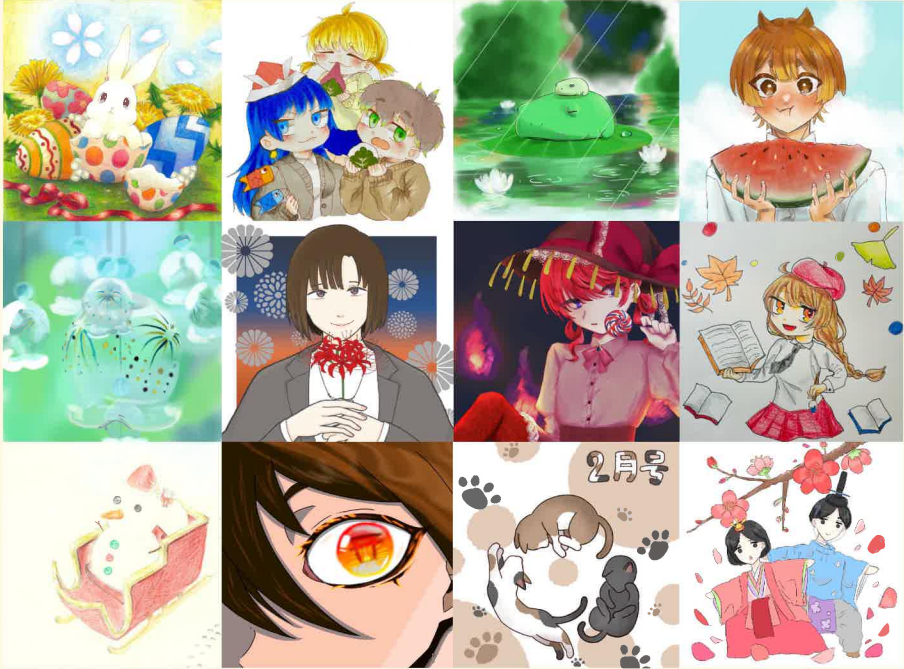


こくりゅうだより



こくりゅうだよりの表紙は桜塚高校イラスト部と池田高校美術部の皆さんにご協力いただいています。
今月の表紙は、2023年度のバックナンバーを並べました。今後も素敵なイラストをお楽しみください。



今後のイベント情報 ※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



外国人のためのサッカー交流会を開催します 6月29日(土)14:00~16:00

内容: みんなでサッカーを通じて体を動かし、楽しめます。運動できる服と靴で来てください。

対象: 外国にルーツを持つ子ども・若者(10歳~39歳)

定員: 11人(事前要申込、先着順)

参加費: 無料 ※雨の場合はありません。中止の場合、前日に連絡します。

場所: マリンフード豊中マルチグラウンド 豊中市利倉東2-22-1
(阪急宝塚線「服部天神」駅から西へ約1200メートル、徒歩15分)

主催・申込: とよなか国際交流センター (水曜休み)

電話: 06-6843-4343 メール: atoms@n.aq.jp

※保険は物がこわれた場合には適用されません。



【報告①】3/23 (日) 協会・センター設立30周年記念シンポジウム

3月23日(土) 14～16時「協会・センター設立30周年記念シンポジウム『多文化を大事にする地域社会をどうデザインしていくか考える』」を開催し、28名の参加がありました。

パネリストの金迅野さん(立教大学大学院特任准教授/元かながわ国際交流財団職員)、榎井緑さん(大阪大学大学院特任教授)、山野上隆史(当協会常務理事兼事務局長)がパネリストとして登壇されました。『地域社会のデザイン』というテーマに寄せて、金さんからは、「地域の強みは、具体性と出合いの多さである。多様性とは、自分が把握しきれないことへの想像力である」というお話がなされ、出合いを言語化し、これまで深掘りせずに使ってきた言葉を問い直すことの必要性についても触れられました。榎井さんからは、当協会ですべて取り組まれてきた外国人支援のご経験から、「歴史がどんどん忘れられていき、いまも社会的に不利な立場にある人があつという間に転落していく構造がある。制度をにらみながら、私たちは力関係に敏感であるべきだ」というお話がなされました。

参加者からは「普段気にせずに生活してるだけでは見えにくいもの、聴こえにくい声がありますが、それらを自ら知ろうとすることから共生社会を自分の立場から進めていこうと思いました」等の感想をいただきました。

30周年記念 連続セミナー・シンポジウムには、多数の方にご参加いただきました。今後も多角的に学び考える講座を企画してまいります。(協会職員・大庭みゆき)



シンポジウムパネリストの皆さん

【報告②】4/20 (土) 第3回サッカー交流会をしました。

4月20日(土) 14時～16時に、マリノード豊中マルチグラウンドにて第3回外国人のためのサッカー交流会を開催し、25人が集いました。

昨年度に引き続き、サッカーが好きなネパール人の子ども、若者の他、当協会理事長が所属するサッカーチーム「早苗の森Buddies」と豊中市人権政策課の方々にお越しいただき、試合を行いました。最後は、みんなで楽しくダンスをして交流を深めました。

呼びかけ人のシブ・クマールさんは「今回は人数が少なかったけど、いろんな人と一緒にプレイできてとても楽しかった。次回はもっとたくさんの仲間に来てもらえるようにしたい」と、次回への抱負を語ってくれました。(協会職員・山本愛)



集合写真



子ども・若者と市職員等の混合チーム

【報告③】4/22 (月) 外国人のための防災セミナーを開催しました。

4月22日(月)に外国人のための防災セミナーを開催し、通訳、オブザーブ参加の方を含めて28人の方にご参加いただきました。防災士の資格をもつ当協会の職員の山根が講師を務め、日本で起こる災害や避難方法と避難する場所についての説明、避難をするタイミングと多言語での情報収集に役立つアプリ、非常持ち出し品や備蓄品とそれらが購入できるお店(百元ショップやホームセンターなど)について説明をしました。避難所とはそもそも何なのか、どこにあるのか、自分たちも使えるのかどうか知らない外国人の方も多く、あらためて自分の暮らす地域について(災害リスクも含めて)知ること、近所の人たちとのつながりを作っておくことの大切さを感じました。

また、防災グッズについてはみなさん興味津々で、百元ショップで購入できることを知ると「これも百元ショップで買えるの?」「一緒に買いにいってほしい」との声もあがりました。最後にお土産として2種類のアルファ化米をプレゼントし、自宅で非常食の体験をしていただけるようにしました。



言語別にわかれて座り、通訳も入りました

外国人の皆さんからは「今年の初めから地震を経験することになっていつも不安でしたが、今日はこんなにいい勉強ができて本当に良かったです」「セミナーに参加して、地震、防災についてよく理解できました。災害が起こったときに備えたいと思います」「自分と家族の安全のための情報について知ることが出来ました」といった感想をいただきました。当協会では、今後も地域とつながりながら外国人のための防災事業を進めていきます。(協会職員・山根絵美)



「トラウマ」という言葉からどんなイメージが浮かびますか？事故や災害等の大変な被害といったような大きな出来事だけでなく、日常のショックな出来事も「トラウマ」と言ったりして、広く一般的に使われる言葉になっています。

アメリカで1998年に発表された研究では、子ども時代に精神的、身体的な「トラウマ」（虐待、親の離婚・病気・問題などの機能不全等）を経験した人が、成人後、様々な身体・精神の病気になる確率が高くなること、自殺率が高まること、平均寿命も短くなること、そして膨大な経済的・社会的コストがかかること等が明らかになりました（ACE研究）。

日本でも同様の研究が行われていますし、昨年は学校ACE®研究が発表されました。学校で子どもが体験するいじめ、暴言・暴力、性被害、教員との関係等が、不登校や引きこもり、抑うつ・不安症状へ影響しているのです。

アメリカではACE研究結果から、支援と治療に加え予防的な介入が行われるようになりました。この全体的な取り組みを「トラウマ・インフォームド・ケア（TIC）」と言います。

これは医療や福祉などの支援者だけが行うものではなく、コミュニティ全体で推進していくことが重要です。というのもACE研究では、子ども時代に逆境体験をしたけれども、大人になってその影響を大きく受けず、比較的健康に過ごす人たちがいることも示されました。その人たちに注目した研究からわかったのは、身近に話せる・聞いてくれる人がいたこと、居場所があると感じられたこと、つまり、守られているとを感じる体験があったことだったのです。

今年3月のATOMS振り返り会（事業評価会）では、「安心」がキーワードの一つに出ていました。ボランティアの方々が、「みんなが安心して参加できることを大切にしている」と話されていました。関心を向け、尊重し、安心して活動できること、これはまさにTICの実践です！

TICは、トラウマを経験した利用者や外国人参加者だけを対象にするものではありません。ボランティアや職員なども含めた全ての人がTICの対象であり、実践者になります。全員が安心を感じられること、全員が安心のために試行錯誤すること、これがTICの実践です。

TICは予防・支援・治療という構成です。ボランティアや利用者の方が、「こういう気になる人がいて…」と連絡をくれることで、支援につながっています。このようなみなさんのあたたかい関心に深く感謝しています。

私の展望として、このTICをもっと地域的に推進していくことと、在住外国人も適切な治療につながることを考えています。みなさんと一緒に実践していきたいと思っています！

【告知】民族教材の貸し出しをしています。

とよなか国際交流センターでは、国際教育や在日外国人教育の充実のため、また地域における国際交流の促進のため、民族教材の貸し出しを行っています。

韓国・朝鮮、中国やフィリピンといったアジア地域を中心に、さまざまな国・地域の民族衣装、楽器や遊び道具、多言語の絵本などを取り揃えており、大人用、子ども用などサイズも様々です。（下記の二次元コードからWebカタログをご覧くださいませ）

豊中市内の公的機関、教育機関、協会主催/共催事業ならびに協会への協力事業については無料でご利用いただけますので、ぜひご活用ください。その他の場合、使用料金は単品であれば、点数×100円×貸し出し日数、延長料金は100円×点数×延長日数となります。お得なセット割りもございます。（セット料金…5点～10点貸し出しの場合、貸出期間1週間で1,000円、クリーニング代は別途ご負担ください）



貸し出し中の民族衣装の一部です



民族衣装カタログ

2024

6月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27 もつと 相談	28 おやこ 相談 こんぼす	29 休館日	30 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	31 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	01 たまりば 相談 ATOMS 振り返りを次ににつなげる会 10:00～12:00	02 がちゃ 相談 貸室抽選会
03 もつと 相談	04 おやこ 相談 こんぼす	05 休館日	06 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	07 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	08 相談	09 がちゃ 相談 母語 サンプル 庄内
10 もつと 相談	11 おやこ 相談 こんぼす	12 休館日	13 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	14 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	15 相談	16 がちゃ 相談 サンプル 庄内
17 もつと 相談	18 おやこ 相談 こんぼす	19 休館日	20 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	21 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	22 相談	23 がちゃ 相談 母語 サンプル 庄内
24 もつと 相談	25 おやこ 相談 こんぼす	26 休館日	27 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	28 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	29 相談 外国人のための サッカー交流会 ♡ 14:00～16:00	30 がちゃ 相談 サンプル 庄内

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

* センターが主催する定例事業 *

月曜日…もつとつなげるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日…おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習習日本語こんぼす	10:00～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
木曜日…とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30～15:00 13:30～15:00 10:00～11:30 11:00～16:00 19:00～20:00
金曜日…とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習習日本語こんぼす	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
土曜日…韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30～11:30 11:00～16:00 13:30～16:00
日曜日…にちようががちゃがちゃだん こどもも母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプル 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00～11:45 10:00～11:30 13:00～15:00 13:00～15:00

今月のピックアップ

「サンブレイス」学生ボランティア募集中!

外国にルーツを持つ小学生～高校生の学習支援・居場所づくりの活動「サンブレイス」で活動するボランティアを募集しています。

活動日時：日曜日(第1日曜日を除く)午後1時～3時

※活動後に30分ほどボランティアで振り返りをします。

活動場所：とよなか国際交流センター

対象：大学生・大学院生で、1年間以上継続的に参加できる方

興味のある方は電話かメールで
とよなか国際交流協会へ
お問い合わせください。



とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゅうだより」第182号(2024年6月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00～21:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

